



YMCA NEWS

金沢青年

HP 版 No.12 (2007 年11月号)

発行所: 金沢キリスト教青年会 〒920-0998 金沢市里見町 44-1 里見タウンハイツ 201
TEL/FAX (076) 221-5398 <http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/>

2007 年度 6YMCA 協議会に出席して

理事長 朝倉 秀之

10 月 5 日(金) 東山荘で開催された「6YMCA 協議会」に出席した。この6団体は専任のスタッフのいない YMCA の集まりである。日本の YMCA は 34 の加盟登録 Y と 33 の学 Y(11 寮、16 サークル、他は休会)で予算 10 億以上が6団体、3億以上が 12 団体、1億以上が6団体、1億未満が5団体、そしてスタッフレス Y が6団体となっている。我が金沢 YMCA は最後のグループの一つである。全国 YMCA が取り組むべき優先課題としては、クリスチャン・リーダーシップの養成、若者たちの YMCA 参画、公益団体としての YMCA プログラムのあり方、スタッフのリーダーシップ育成、会館とスタッフ経費をまかなう基幹事業の運営、寄付とボランティアによる運営、委託事業と YMCA 使命の確認、以上 7 点がある。



スタッフレス6団体は沖縄 YMCA(加盟・財団)、金沢 YMCA(加盟・財団)、福知山 YMCA(登録・任意団体)、熱海 YMCA(登録・NPO)、松山 YMCA(加盟・任意団体)、鳥取 YMCA である。金沢 YMCA にとって、最大の問題は今後も公益法人にすることができるかどうかということである。今回「公益法人改革に備えて」という話も金沢 YMCA がどのような道が残されているのかとして切実に聞くことができた。法の施行期間は、2008 年 12 月 1 日であり、経過措置は 2013 年 11 月 30 日が期限となり、民法上の法人の解散となる。金沢 YMCA は 2008 年 5 月まで(総会の時であるが)には態度を明確にしなければならない。

しかし、その方向選択がどうであれ、日常のプログラムは現在あるものを充実させ、青少年に対するプログラムが参加者に支持されていくように努力していかなければならない。それには育成担当者を決めてリーダーを育成し、YMCA 理解や YMCA らしさを伝えていくことが大切である。

これまで金沢 YMCA を支援してくださった金沢ワイズメンズクラブと金沢犀川ワイズメンズクラブが今後ともご支援・ご協力してくださることを願ってやみません。直接 YMCA をご支援くださる方々も連絡をお待ちいたしております。

《 インフォメーション 》

【ワイズメンズクラブ】

〈金沢クラブ〉 12 月例会(犀川クラブとの合同クリスマス): 日時 2007 年 12 月 20 日(木) 18:30~21:00、会場 金沢ニューグランドホテル。YMCA のボランティアリーダーを招待します。

〈金沢犀川クラブ〉 今年度下半期の卓話例会(予定)。1 月例会: 1 月 10 日(木) 19:00~21:00、ウエルシティ金沢 鳳凰の間、卓話: 西出武雄氏「私の趣味 一切手絵と写真」、3 月例会: 3 月 13 日(木) 19:00

~21:00、兼六城下町、卓話: 改田肇山氏「卵黄油彩 テンペラ画」、5 月例会: 5 月 8 日(木) 19:00~21:00、会場未定、渋谷良穂氏「やさしい英語で金沢紹介」。

【金沢 YMCA キャンプ (野外活動)】

ゆきん子キャンプ: 1 月 19 日(土)、スキー、県内。

【金沢 YMCA その他の活動】

腹話術講習会: 日程未定、18 歳以上の会員を対象。
チャリティークリスマス: 12 月 23 日、ユニセフ募金。
早天祈祷会: 毎月 1 日(6:00~7:00) 1 月 1 日休み。

《 YMCA と私 》

ハイ Y の思い出

金沢 YMCA 常務委員
金沢ワイズメンズクラブ副会長 山内 健司



1948 年(昭和 23 年)に起こった福井地震の被災地の復興援助のために、金沢 YMCA の青年達がワークキャンプをすることになりました。現在の加賀市の塩屋という漁村で、村人たちの後片付けのお手伝いをしたそうです。私はまだ中学生で YMCA のことは全く知りませんでした。このキャンプはその後ハイ Y の塩屋キャンプとして 10 年以上続いておりました。私が YMCA との関わりを持つようになったのは高校に入ってからのことでした。当時は戦後のキリスト教ブームのころで、私の高校では「キリスト教研究会」というものがあって、キリスト教に興味があったので入部しました。実はこれが

ハイ Y (高校生の YMCA) だったのです。泉が丘、桜ヶ丘、二水、金大附、董台などにハイ Y ができました。当時の金沢 YMCA は会館もなく、石浦町にあった金沢教会の一部で英文タイプや英会話教室などの事業が行われていたようです。当然 YMCA に出入りするということは教会に出入りすることになるので、私の一大転機でした。塩屋キャンプを通して良き先生方、先輩・後輩の方々と出会い、色々と鍛えられた青春の日々でした。柿木畠に YMCA の会館があたえられ、活動が活発になったのは渚田主事の頃(1958 年)でなかったかと思います。

キャンプ大好き

金沢 YMCA ボランティアリーダー 小野 通弘

金沢 YMCA でボランティアリーダーをしている Kong(コング)リーダーです。僕が、YMCA と出会ったのは富山で学生をしているときでした。当時富山 YMCA でリーダーをしていたダニーリーダーにバイト先で誘われたのがきっかけでした。YMCA のリーダーは独特の雰囲気(テンションがとにかく高い!)があり、初めて見た人は引いてしまうことが多いらしいのですが、その時の僕は「やったー!! ついに富山で自分の居場所を見つけたぞっ!!」という感じでした。それから、10 年余り富山 YMCA で野外活動に関わってきました。ここ 4 年間は同時進行で金沢 YMCA にも活動の場を与えてもらっています。

リーダーの多くは子供が大好きだからという人がほとんどですが、実は僕は子供が大好きなわけではありません。キャンプが大好きで大好きでたまらないのです。大好きなキャンプをする選択肢のひとつとして YMCA の活動があったのです。しかし、きっかけはキ

ャンプ好きではありませんでしたが、子供たちとの活動で得たものはとても大きなものでした。子供たちの笑顔を見たいがために何日もかけて準備をし、キャンプ後も良かった点・反省すべき点などを夜遅くまで話し合いました。そんなリーダー仲間と過ごす時間も僕にとっても有意義な時間でした。



今では、子供たちとの出会い・仲間たちとの出会い・共に過ごした時間、YMCA の活動を通して学んだすべてのことが、僕のかげがえのない財産となっています。

《 活動報告 》

みどりっ子キャンプ in 甥杉少年の森

暑い暑い 8 月 2 日・3 日の二日間、甥杉少年の森にてキャンプが行われました。リーダーが下見で訪れた時にカモシカと出会うほど自然がいっぱいの森です。

今回のキャンプの目玉は溪流遊び。少年の森から 30 分ほど下ったところに水遊びにはちょうど良い溪流があります。お母さんに作ってもらったお弁当を持って、いざ出発！でも、張り切って出発したものの、なかなか着きません。細い階段をおり、倒木をくぐり、ようやく川の水の流れる音が聞こえてきました。早く入りたい！と気持ちは焦りますが、まずは腹ごしらえ。全員でシートに座って食べました。さあ、いよいよ川に入ります。足をつけてみると思ったよりも冷たく、気持ちいい♪。最初は足だけだった子もそのうち水をかけ合い、そのうち座り込んだりして、しばらくするとみんなビチョビチョになりました。水鉄砲もあり、標的はもちろんリーダー。リーダーも負けじと水をかけます。中にはカニや魚を見つけた子がいて、見せてくれました。子どもたちはもちろん、リーダーも子どもに返ったよう



ない笑顔がたくさん見られました。

その他、ゲーム大会・キャンプファイヤー・燻製作り・凧作りなど、普段の生活とは違うアウトドアライフを満喫してきました。

(O.Y.)

もみじっ子キャンプ in 富山県上市町大岩&あそあそ自然学校

10 月 13 日・14 日の二日間、富山県にてあそあそ自然学校との合同キャンプを行いました。金沢 YMCA では初めての県外キャンプということで、少し不安そうな子もいましたが、バスの中から子どもたちのパワーは全開。富山に着くと、二日間共に過ごすメンバーに分かれ、早速キャンプのスタートです。

プログラムは大岩探検、柿ゼリー作り、キャンプファイヤー、里芋ほり、豚汁・おにぎり作り、ピザ作りと盛りだくさん。大岩探検では、大岩山日石寺を問題を探しながら探検しました。「階段は何段？」や「この神様は何の神様？」などの問題と一緒に、あそあそ自然学校の名物リーダー「つるぴかりーダーはどこでしょう？」という問題もありました。答えはお地蔵さんがたくさんある薄暗い洞窟の中。あまりの気味の悪さに中には悲鳴をあげる女の子達も。最後には門の左右

にあった像の格好をしてハイチーズ。みんななりきっていますが、どうでしょうか？

グループのメンバー



が同じ年代の子だったということもあり、初めて出会った友達ともこの二日間とても仲良くなりました。しおりにはアドレス帳もあったのですが、みんな住所を書いてもらったのかな？ 方言の違いなど感じる事ができたかな？ また、こんな機会をつくっていきたいです。

(O.Y.)

第 5 回金沢わいわい寄席

第 5 回金沢わいわい寄席は、金沢ワイズメンズクラブ・金沢犀川ワイズメンズクラブ主催、金沢 YMCA 共催、北國新聞社・金沢市教育委員会後援のもと、10 月 20 日(土)19:00 から金沢市文化ホール 2 階大集会室で開催されました。昨年までは石川県立音楽堂 B1F の交流ホールで開催していたのですが、今回は諸般の事情で、市文化ホールを使用することになったものです。音楽堂の場合と違って天井が低いので、かえって寄席向きの会場になったと思います。また、お囃子の CD を流すなど、雰囲気づくりの工夫もいたしました。

開催に漕ぎつけるまでに 5 回実行委員会を開催し、当日は主催・共催団体のメンバー総出で役割分担をこなしました。山内メネットの名司会で幕を開けた寄席は、当番の金沢犀川クラブを代表して会長が挨拶したあと、最初に二



代目森乃福郎師匠による「始末の極意」、つぎに森乃石松さんによる「移動動物園」、最後に福郎師匠による「京の茶漬け」が演じられました。寄席らしい、和やかな雰囲気が漂う中、金沢 YMCA 理事長の閉会挨拶でもって幕を閉めました。

来場者は 140 名を超え、そのうち 93 名の方にアンケートを書いていただきましたが、「大変良かった」と「良かった」を合わせると 63 名 (67.8%) となり、残りは「普通」と「無記名」のものばかりで、「悪かった」や「大変悪かった」は皆無でした。また、記述式の感想欄でも「とても楽しかった」、「芸のすばらしさに感動 & 大笑いさせられました」、「本当に元気になりますので、また、是非金沢に来てください」、「小学生の子どもも喜んでいました」、「若い人にも分かりやすかった」、「良い話で楽しく聞かせていただいた」、「テンポの良い話しぶりに引き込まれ、時間の経つのも忘れました」、「金沢で寄席が聞けて良かった」、「会場はアットホームで寄席的」、「また楽しみにしています」、「久しぶりに声を出して大笑いしました」、「落ち着いて落語の楽しさにふれさせていただきました」、「楽しい時間を過ごさせていただきました」など、好意的なものが辛口の批評を上回っていました。

今回の寄席の黒字分については、12 月 20 日(木)の金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス例会の際に金沢 YMCA に献呈することになっています。

以上のように今回も寄席自体はおおむね好評を得たのですが、第 5 回を節目に今後どうするか慎重に検討する必要があります。と申しますのは、毎年の開催は会員にかなりの負担になっていますし、チケットの頒布先も固定化の傾向にありますので、マンネリ化を避けるには 2 年に一度ぐらいがちょうどよいのではないかなと思うからです。また、開演時刻が 19:00 というのは家庭の主婦にとっては出席しにくい時間帯ですので、土曜日の午後でも昼間に開催するのがよいのですが、そのような条件で会場を確保するのは 1 年前では遅すぎます。隔年開催ならば、もっと周到に準備を進めることができます。詳しくは 12 月 7 日(金)に開催の実行委員会(反省会)で検討する予定です。

今回、準備段階でいろいろ不手際があり、ご心配をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、皆様の絶大なご協力を得て成会裏に終えることができましたことを深く感謝申し上げます。

*追記:12 月 7 日の実行委員会で相談の結果、とりあえず次年度も金沢わいわい寄席を開催することになりました。次期当番は金沢ワイズメンズクラブです。

実行委員長 三谷信三
金沢犀川クラブ会長 平口哲夫

秋のクリーンキャンペーン

10 月 21 日、冷え込みの厳しい朝となりましたが、7 時から 1 時間ほど YMCA の周辺を清掃して歩きました。金沢ワイズから 2 名、金沢犀川ワイズから 2 名、YMCA から 2 名の計 6 名で行いました。

道路上にはあまりゴミがないように見えたが、よく見るとたばこの吸殻がたくさんありました。特に溝の蓋の隙間に隠すように押し込まれているのが目につきました。私の周りの人は携帯灰皿を持っているのでポイ捨てを目にすることはありませんが、未だに平気で捨てる人がたくさんいることに少し悲しい気持ちになりました。それでも例年と比べると少ないとのこと。このままゴミが減り続け、この活動自体が必要なくなる

ような、誰もが気持ちよく生活できるような街づくりができればと思います。また、私自身も気をつけ、子どもたちにもきちんと教えていきたいと思います。



(O.Y.)

ながまち ふれあいフェスティバル 2007

11 月 11 日(日)10:00~15:00、金沢市中央公民館(旧・長町研修館)や老舗記念館とその周辺で標記の行事が開催されました。実施団体や参加サークルの総数は 35 です。

キャッチフレーズは、「笑顔・元気 長町フェスタ」で、「観てみよう! 体験しよう! 味わってみよう!」というものでした。

金沢 YMCA のブースは 1 階出入り口近くの第 5

学習室で、ポスター・写真・グッズなどの展示により、YMCA やワイズメンズクラブの活動を紹介しました。

(K.T.)

